

# シンポジウム「電気泳動が紡ぐ生命科学の未来」 (409講義室)

	セッション 座長	時刻	No.	タイトル	講演者	所属	
8日 (水)	No.1 若手研究者によるがん研究 up-to-date—電気泳動法の果たす役割— 佐藤 雄一(北里大学) 菊田 一貴(栃木県がんセンター)	11:00	S-1	卵巣明細胞癌におけるLefty発現とその臨床的意義	松本 俊英	北里大学医学部病理学	
			S-2	低発現癌抗原遺伝子の発現検出における電気泳動の意義	福山 隆	北里メディカルセンター 研究部門	
			S-3	Cancer proteomics reveals resistance mechanisms of tyrosine kinase inhibitors in sarcomas	喬 志偉	国立がん研究センター希少がん研究分野	
			S-4	分子マトリックス電気泳動を用いた唾液腺腫瘍の糖鎖解析	井坂 栄作	東京歯科大学 オーラルメディスン 口腔外科学講座	
			S-5	ユーイング肉腫における小胞体ストレス応答の役割と新規治療法の開発	田邊 雄	順天堂大学整形外科	
		12:30	昼食休憩				
	No.2 日本比較内分分泌学会との共催 比較内分分泌から電気泳動への秋波 小寺 義男(北里大学) 高橋 明義(北里大学)	15:00	S-6	光環境と魚類～体色・成長との繋がり	高橋 明義	北里大学海洋生命科学部	
			S-7	カレイ目魚類における視物質遺伝子の分子進化	笠木 聡	北里大学海洋生命科学部	
			S-8	明暗周期の変容が脳の発達へ及ぼす影響	原口 省吾	昭和大学医学部	
			S-9	動物の季節適応機構の解明とその応用	吉村 崇	名古屋大学大学院農学部	
		16:30	休憩				
	No.3 生命科学の未来を紡ぐ最新の電気泳動技術 木下 英司(広島大学) 木村 弥生(横浜市立大学)	16:45	S-10	メタロタンパク質マッピング法としてのMICS-BN-PAGEに関する最新トピック	齋藤 伸吾	埼玉大学大学院理工学研究科	
			S-11	ペプチド代謝活性の網羅的解析(enzymomics)による疾患関連タンパク質の探索	小松 徹	東京大学大学院薬学系研究科	
			S-12	超分子ヒドロゲルを用いた生体高分子の電気泳動	山中 正道	静岡大学理学部	
			S-13	凹凸型カートリッジ接続デバイスを用いた多次元デジタル電気泳動分画法の開発	末吉 健志	大阪府立大学大学院工学研究科	
		S-14	Phos-tag結合型光硬化性アクリルアミドによるリン酸化化合物のオンライン特異的濃縮とマイクロチップ電気泳動分離	山本 佐知雄	近畿大学薬学部創薬科学科		
9日 (木)	No.4 様々な翻訳後修飾にせまる電気泳動 平野 久(横浜市立大学) 亀山 昭彦(産業総合研究所)	9:15	S-15	Phos-tag SDS-PAGEを用いたRabリン酸化の解析	伊藤 弦太	東京大学大学院薬学研究科	
			S-16	電気泳動による翻訳後修飾の解析 タンパク質レチノイル化の機能解析に関する新展開	高橋 典子	星薬科大学医薬品化学研究所	
			S-17	O-GlcNAc化蛋白質の検出と定量的解析を可能にするレクチン親和性ゲル電気泳動法の開発と応用	久保田 裕二	東京大学医科学研究所分子シグナル制御分野	
			S-18	グライコーム/グライコプロテオーム解析技術としての電気泳動の可能性	木下 充弘	近畿大学薬学部	
			S-19	分子マトリックス電気泳動で解明する唾液腺ムチンの加齢変化	亀山 昭彦	産業技術総合研究所	
		10:45	休憩				
	No.5 臨床医学の最新情報 伊東 文生(聖マリアンナ医科大学) 安井 寛(東京大学医科学研究所)	11:00	S-20	2D-DIGEを用いた自己免疫疾患のバイオマーカーおよび薬剤の新規作用の探索	黒川 真奈絵	聖マリアンナ医科大学	
			S-21	がんのnon-coding RNA異常およびエピゲノム異常の解析とその応用	鈴木 拓	札幌医科大学分子生物学講座	
			S-22	造血管腫瘍の最新臨床医学のための電気泳動	安井 寛	東京大学医科学研究所	
		12:30	昼食休憩				
No.6 日本プロテオーム学会との共催 プロテオミクスの最新技術の基礎から応用まで 榊原 陽一(宮崎大学) 藏満 保宏(北海道医療大学)	15:00	S-23	はじめに	藏満 保宏	北海道医療大学がん予防研究所		
		S-24	プロテオミクスを基盤とした融合オミクスによる腫瘍特異的ネットワーク解析	荒木 令江	熊本大学大学院生命科学研究部		
		S-25	悪性骨軟部腫瘍の個別化医療を目指したバイオマーカー開発のためのプロテオーム解析	菊田 一貴	栃木県立がんセンター骨軟部腫瘍・整形外科		
		S-26	電場分離を利用したショットガンプロテオミクス	石濱 泰	京都大学大学院 薬学研究科		
		S-27	まとめと来年のアナウンス	榊原 陽一	宮崎大学農学部応用生物科学科		
	16:30	閉会挨拶					